

第64回
気仙沼みなとまつり

報告書

開催日：平成27年8月1日（土）
8月2日（日）

気仙沼みなとまつり委員会

1. 開催にむけての経緯（主催団体長会議・企画部会活動）

（1） 前回みなとまつりの報告会議にて

平成26年11月25日に行われた気仙沼みなとまつり委員会の主催団体長会議において、平成27年の「第64回気仙沼みなとまつり」開催についても話題に上がった。港町の臨港道路や内湾地区の復旧状況がみなとまつり会場などの選定に大きく関わり、次回以降もかさ上げ工事の進捗による会場の変更が予想されるため、早めの準備が必要との意見が寄せられた。

（2） 企画部会の立ち上げと1回目の会議

こうした意見を受けて、気仙沼みなとまつり委員会事務局では、平成26年12月15日に企画部会に携わる団体の代表者を集めて準備打合せを開催した。打合せでは、前回みなとまつり開催以降に各団体へ寄せられていた意見の交換や第64回の開催に向けて、会場予定地についての情報交換をおこなった。以後、企画部会の第1回目会議開催までの間、事務局では会場予定地の復旧状況などについて関係先からの情報入手に努めていた。

平成27年2月2日に企画部会の第1回目会議が開催され、その席で本年のみなとまつりの日程や行事スケジュール、会場案について出席者の間で検討し、前回とほぼ同じ日程、行事スケジュールで主催団体長会議に提案して行くことでまとまった。また、その前段階として打ちばやし大競演の参加予定団体や街頭パレードの参加常連団体との間で懇談会を開催することも決定した。

なお、以後のみなとまつりの企画準備作業については、企画部会メンバーを中心に進められていく。

（3） 参加団体を交えた行事スケジュールの検討

第1回目の企画部会会議が開催された後、気仙沼みなとまつり委員会企画部会では、日程と行事スケジュール、会場予定地について、打ちばやし大競演の参加予定団体と街頭パレードの参加常連団体をそれぞれ集めて別々に懇談会を開催した。打ちばやし大競演についての懇談会では、会場予定地と行事スケジュールについて企画部会側の提案内容で参加予定団体から了承を得られた。一方、街頭パレードについては、企画部会側からは土曜日に田中前大通りで開催

する案を提案したものの、参加常連団体からは、日曜日に移動して欲しいとの要望が強かった。こうした要望を受けて、企画部会メンバーの中で、日曜日に街頭パレードを開催する方法を会場候補地の選定も含めて模索し、3月19日開催の企画部会第2回目会議では、街頭パレードを土曜日に田中前大通りで開催する場合と日曜日に市役所近辺を会場として開催する場合の二つの骨子案を主催団体長会議に提案することが決まった。

(4) 1回目の主催団体長会議とその後の行事スケジュール決定まで

3月30日開催の主催団体長会議では、出席した主催団体の代表者から8月1日・2日での開催と街頭パレード以外の行事スケジュールについて、企画部会が提案した内容で承認を受けた。街頭パレードについては、日曜日に市役所近辺を会場として開催する案を再度、街頭パレードの参加常連団体に諮り、了承が得られたうえで、その後の企画部会会議で正式な行事スケジュールを決定するという事とまとまった。

その後、4月6日に街頭パレードの参加常連団体を対象とした懇談会を開き、街頭パレードを日曜日に市役所近辺を会場として開催する案を提案し了承を得られた。これを受けて翌7日の企画部会の第3回目会議で本年のみなとまつりの行事スケジュールを決定し、以後、参加団体の募集など祭り行事の準備を本格的に進めていくこととなった。

企画部会の全体会議は、その後もみなとまつり開催までの間に第4回目から第9回目までを開催し、まつり行事の内容検討と準備を進めていった。

行事内容については、この間に変更などもあったが、7月21日開催の主催団体長会議に提案し承認を受けた。

◎ 7月の主催団体長会議に諮った実施内容については下記のとおり。

8月1日(土)

○「オープニングセレモニー」

(田中前大通り・北日本銀行駐車場) 16:30 ~17:15

○「はまらいんや踊り」

(田中前大通り) 17:30 ~20:00

8月2日(日)

□昼の部

○ 街頭パレード

(三日町・八日町・南町パレードコース約600m)

10:45 ~13:30

□夕の部

○ 「打ちばやし大競演」

(港町臨港道路)

17:00 ~20:30

○ 海上うんづら・第1部

(港町岸壁)

17:00 ~18:45

○ 海上うんづら・第2部

(港町海上)

19:15 ~20:30

○ 大流灯：立正佼成会石巻教会気仙沼支部様による

(内湾海上)

19:10 ~19:40

○ 海上打ち上げ花火

(気仙沼湾内)

20:00 ~20:30

協賛行事

■7月31日(金)

「ウエカツ流！ カンタン！ 美味しい！ 気仙沼のカツオ！」

(気仙沼中央公民館)

13:30 ~

■8月1日(土)

南町紫市場 ‘15夏まつり (気仙沼復興商店街南町紫市場)

11:00 ~16:00

POKEMON with YOU キャラバン2015

(田中前・八木自動車駐車場、福幸小町田中前通り駐車場)

14:00 ~20:00

■8月2日(日)

南町紫市場 ‘15夏まつり

(気仙沼復興商店街南町紫市場) 10:00 ~21:00

2. みなとまつり委員会内の各部会・委員会の準備活動について

総務部会 : 各部会の連絡・調整。海上規制や交通規制のための関係当局との調整。出店設置のための準備・調整。

広報部会 : まつりチラシの作成・配付、まつりポスターの作成、メディアへの対応。

警備部会 : 交通規制実施に向けての関係当局との調整。まつりに係る事故防止に向けて、防犯、交通指導、消防などに関する市民団体との連絡・調整。

大口協賛金募金委員会 : 大口協賛金などの依頼、街頭募金の実施、まつり募金箱の設置・回収のための準備と会議の実施。

3. まつり行事内容について

<8月1日(土)>

(1) オープニングセレモニー

午後4時30分から始まり、(一社)気仙沼青年会議所メンバーによる「銀鱗太鼓」がオープニング演技として行われた。今回は、昨年制作された「昇里(のぼり)」と一昨年に制作された「怒濤(どとう)」の2曲が披露された。オープニング演技について、大会会長である菅原茂市長の挨拶、来賓紹介、メッセージ紹介までを北日本銀行気仙沼支店駐車場内のメインステージで行った。

オープニングセレモニーの終了後、「はまらいんや踊り」を開始するまでの合間に、アトラクションとして、ワハハ本舗の「ポカスカジャン」の皆さんによるミニステージを行った。震災以降、復興応援のためにワハハ本舗の所属タレントさんが気仙沼を多く訪れており、「ポカスカジャン」の3人の皆さんも愉快的な音楽演奏による笑いでみなとまつりのスタートを盛り上げてくださった。

(2) はまらいんや踊り

アトラクションの終了後、当初の開始予定時間(午後5時30分)より5分ほど早めの午後5時25分に、はまらいんや踊りが始まった。

はまらいんや踊りには、市内の学校、サークル、事業所から参加者が集まったほか、この日のために帰省してきた気仙沼市出身者、そして、震災直後から気仙沼のためにボランティア作業に駆けつけて下さった方々など多くの人々にご参加いただいた。

人数的には前年を約100名上回る3,200名となり、スタート時の配置図を作成する際には、会場への収容としてはほぼ限界に近い人数と思われた。実際、開始直後は混み過ぎて踊りづらそうな団体も見受けられた。一方である程度時間が経ってから空きスペースができるようになり、このスペースを埋めて行くため、踊りではなく早足での行進になってしまった団体も見受けられた。

はまらいんや踊りの楽曲演奏は、当地出身バイソン片山氏が率いるバイソンバンドが

担当、気仙沼出身のジャズピアニスト岡本優子さんも加わって、みなとまつりならではのにぎやかな演奏を披露した。ステージではバイソンバンドと一緒に地元の小学生14名が今回も掛け声隊として熱唱し、楽しい踊りに花を添えてくれた。また、気仙沼市内の打ちばやし団体が踊りコースの交差点ごとに太鼓を設置して演奏し、勇壮な太鼓の音で祭りを盛り上げてくれた。

前回の反省から参加団体に対してマナー遵守を要請したことで、今回は前回のようなマナー違反、ルール違反に該当するようなことは聞かれていない。

例年、踊り開始直後は参加者のほぼ全員が踊りの輪の中に入っているため、踊りが進みづらいように思われる。時間が経つにつれて途中で踊りを止めて輪の中から抜けていく人数が増えると、輪の中に空きスペースができるようになる。このスペースは、そのままにしていると観客の皆様には間延びしている印象を与え、一方で開いたスペースを埋めるため前の団体に追いつこうと走り出してしまうと、はまらいや踊りそのものが出る方も見る方も楽しめない、といったことが指摘されている。今回でも見受けられたこうした状況を考慮しながら、円滑に踊りを進めかつ観客の皆様にも楽しんでもらえる運行方法を今後は検討していきたい。

(参加57団体、約3,200名)

<8月2日(日)>

(3) 街頭パレード

本年からは、震災前のみなとまつりに近い行事形態にもどす意味合いも込めて、街頭パレードは前回までの土曜日昼の開催から日曜日昼の開催に日程を移動し、コースについては市役所前および南町紫市場を通過するコースに変更して実施した。

このことは、復活開催の2回目となる第62回以降、参加団体から日曜日開催への要望が強く、今回の開催に向けての事前の懇談会の中でも、参加団体から日曜日開催についての要望が根強かったことが理由でもある。

コースについては、三八通りを通行する公共交通機関や周辺住民、事業所など各方面からご協力をいただき、実施にこぎつけることができた。時間帯としては、次に実施される港町での交通規制開始時間との兼ね合いで交通規制は午前10時30分から午後2時までと震災前よりも早めの設定とし、この時間内で出発式から最終団体のパレード終了までを行うこととなった。実際には、午前10時45分に出発式を開会し、11時05分には最初の団体がスタート、午後1時10分には最終団体が三八通り通過して、1時50分ごろに最終団体がパレードを終了した。

内容については、一番街芸能社による「ちんどんパレード」が復活し、街頭パレードの先陣を切った。二番手は気仙沼商工会議所青年部による「インドネシアパレード」で100人を超える大所帯の隊列が色鮮やかな民族衣装をまとって行進した。つづいて(一社)気仙沼青年会議所は、ここでもポカスカジャンが登場、停止演技ではポカスカジャンの演奏する曲と唄に合わせて青年会議所メンバーが踊りを披露した。

気仙沼市婦人会連絡協議会の皆さんは震災後初めて全員そろいの浴衣を着て出場し、

気仙沼音頭の踊り流しで華やかさとノスタルジーを演出してくださった。(株)気仙沼商会は2年ぶりの参加で子供たちに人気のアニメーションの音楽で踊りを披露した。

出発式でのファンファーレも担当した気仙沼市民吹奏楽団は、息の合った演奏で見ている人を元気付けてくれた。恋・来いグループかわなみも真夏の日差しの中でメンバーによるそろいの踊りとリーダーによる大きなアクションでパレードを盛り上げた。屋中郷土芸能保存会は、一関市室根町から震災後2回目の登場、打ちばやしと山車の運行で復興へ向かう気仙沼市民を勇気付けてくれた。徳仙丈のつつじを愛する会は恒例のバンド演奏で参加、気仙沼出身澤村宗さん率いるバンドが誰でも知っている曲を演奏し続けて、明るい雰囲気コースにあふれさせてくれていた。

例年、恒例となっている自衛隊からは、今回は陸上自衛隊東北方面音楽隊と東北方面フラッグ隊、そして山形県東根市の第六音楽隊が参加、行進曲「大空」を演奏しながらカラフルな旗の演技を披露し、パレードを盛り上げてくれた。また、今回は大会会長の菅原茂市長や大会実行委員長の菅原昭彦気仙沼商工会議所会頭らが乗車した主催者オープンカーが自衛隊の音楽隊に続いて行進した。

終盤に入ってから、気仙沼人力車木遣会が、木遣り唄を披露し、人力車を運行しながら行進、これに神輿を担ぐ会弁天連が気仙沼市内だけでなく全国から駆けつけた応援のメンバーと一緒に神輿渡御でお祭り気分を盛り上げ、上沢打囃子来福大神が勇壮な太鼓の響きと縁起のいい獅子舞で追いかけて、浪板虎舞が大勢の市民が見守る中、まつりパレード恒例の虎舞でトリを飾った。

(参加14団体、約800名)

(4)「打ちばやし大競演」

打ちばやし大競演は、雷雨の影響により10分遅れの午後5時10分からスタートした。今回は、本道路のかさ上げ工事が終了した港町臨港道路を会場に実施された。市内の和太鼓団体を中心に近隣所在の太鼓団体も含めて28団体、約900名が打ち手として参加、港町のローソン付近から旧・船員憩いの広場前付近までの約280mの路上に太鼓700基余りを並べて勇壮な太鼓演技が披露された。

今回は、一昨年と同じ港町臨港道路に打ちばやし会場を移動、一昨年の演奏スペースが海側1車線と路肩だけだったのに対し、今回はさらに海側2車線めも使用できるようになったことで奥行きが広がり、また、道路と岸壁の間にある更地の部分も待機場所などとして使用できるようになったことで、各参加団体の使用可能スペースはこれまでよりも広いものとなった。一昨年に設定していた緊急車両通行道路は今回も設定することとなったが、演奏中の緊急車両通行道路への立ち入りについての規制が一昨年よりも緩やかになったことで、演奏者と観客との距離感は、一昨年のような完全に離れたものとはならなかったように思われる。

打ちばやし大競演は、参加団体による「打ちばやし幹事会」が行事運営を担当した。開催に向けての練習会や当日までの会場や機材等の準備、太鼓演奏以外のイベントの企

画などで参加団体が協力し合いながら取り組んでいた。今回は、演奏開始前に「海潮音（みしおね）」の独唱と合唱を新しく取り入れた。笛の演奏やベース太鼓の演奏についても担当者による集中練習に取り組んでいた。雷雨の影響で直前の打合せや準備などが行えなかったが、これまでの練習や会議等打合せを重ねていたことで、大きな不具合等も無く、幹事会が目指していた観光客等との交流も図りながら、打ちばやし大競演を進めて行くことができたように思われる。

打ちばやし大競演では、今回もサンマ漁船「第八十一豊清丸」中館漁労長ほか乗組員さんのご協力によって、同船舶搭載の最新鋭LED集魚灯を披露していただいた。出漁準備のサンマ漁船やお盆休みに入ったカツオ漁船が多く停泊しているなかで、接岸場所の確保に向けて、担当部署では相当の労力を要していたが、関係先などからのご協力をいただきながら、当日の接岸場所を確保できたことで、港町気仙沼ならではのみなとまつり風景を演出できた。

（参加28団体、約900名）

（5）海上うんづら

（一社）気仙沼青年会議所による「海上うんづら」は、本年も実施できたものの、漁港付近の岸壁等の復興工事の影響を受けて、当初予定していた内容や本来のうんづらの運航には近づけられなかったように思われる。

内容としては、午後5時10分からこれまでと同じく岸壁に接岸しての停船演技を行い、打ちばやし参加団体から募った子供たちを乗船させて太鼓演技を披露できた。しかし、接岸場所が当日まで確保できず、直前になって接岸できた場所も打ちばやし大競演の会場から離れた位置（みちのく建設工業向かい付近の岸壁）であったため、同時開催の打ちばやし大競演との一体感が形成できなかった。

午後7時過ぎからのドヤ節入港や運航演技についても打ちばやし大競演の会場となった港町の岸壁には多くのサンマ漁船やカツオ漁船が停泊していたことで、観客からはうんづらが見えにくくなってしまい、本来の海上うんづらの迫力を引き出せなかった。

今回は、東京都中野区からの協力をいただいて、青森のねぶたまつりで実際に使われたねぶたもうんづら台船に搭載したほか、オープニングセレモニーや街頭パレードでも登場したポカスカジャンのみなさんにもうんづら船に乗船してもらうなど、（一社）気仙沼青年会議所では、例年以上にみなとまつりの盛り上げに力を注いでいたように思われる。

（6）大流灯

立正佼成会石巻教会気仙沼支部による大流灯は、午後7時10分から7時40分まで内湾海上で行われた。復興工事との兼ね合いで範囲を制限し、灯籠の数も800個前後と震災前よりも規模を縮小したままの実施となった。

前回はまつりの締めくくりとして花火の打ち上げ後に灯籠を浮かべていたが、今回

は花火の打ち上げ前に灯籠を浮かべて回収まで行う、という内容となった。

震災以降、灯籠に対しては、鎮魂の想いを持ったの見方が強くなっている。一方で大島行き汽船の定期最終便と臨時便の運航の合間を縫って、他の海上行事とも会場および時間的に重ならないように実施することは難しくなっている。

今後、内湾地区での岸壁かさ上げ工事も進展して行くことから、みなとまつり行事としての大流灯の実施については、検討しなければならないように思われる。

(7) 海上打ち上げ花火

今回のみなとまつりのクライマックスとして午後8時から海上打ち上げ花火を実施した。(花火業者：秋田県大仙市 (株)和火屋) 今回も陸上に打ちばやし大競演、海上に(一社)気仙沼青年会議所のうんづら、上空に花火といったように、震災前のみなとまつりと同じ構成で海上行事を実施することができた。

当地気仙沼市付近は雷雨があがってから竜巻注意情報が発表されていたが、風が強まることのないまま、花火打ち上げの時間にこぎつけることができた。

今回から花火業者を変更している。花火の明かりが見えやすいように、残っている煙を避けるため、打ち上げ方向や高さに工夫し、また花火の打ち上げの間隔が間延びしないように、構成についても内容の濃いもの変わったと思われる。ただし、時間的には当初の終了予定時刻よりも5分ほど早めに終わったため、前回のような打ちばやしと花火がぴったりと終わる、といったことにはならなかった。

しかしながら、やはり各種の全国花火大会で表彰を受けてきた花火業者であり、これまでには見られなかった金色の連続しだれやなぎや時間差で開く多彩な花火も盛り込まれていたことから、印象深い花火になったものと思われる。

4. 協賛行事などについて

(1) 「ウエカツ流！ カンタン！ 美味しい！ 気仙沼のカツオ！」

7月31日(金)午後1時30分から 気仙沼中央公民館にて

国立大学法人東京海洋大学と気仙沼市とで開催した講演会。

上田勝彦氏(東京海洋大学客員教授ほか)を講師として、小中学生を対象に気仙沼の名産であるカツオをもっと美味しく食べるヒントを盛り込んだ講演や上田氏による調理実演がおこなわれた。

(2) 『POKEMON with YOU キャラバン2015』

「ポケモンを通じ、子どもたちが集い、自然にコミュニケーションが生まれる環境」を創り出すことを目的に、福幸小町田中通り駐車場と八木自動車整備工場(株)駐車場を会場として、午後2時から8時まで開催された。

福幸小町田中通り駐車場にはポケモンステージやポケモングッズの特設販売スペースが、八木自動車整備工場(株)駐車場にはピカチュウビッグふわふわといった遊具などが設置されていた。小さい子供達や家族連れの観客でにぎわっていた。

(3) 『南町紫市場 ‘15夏まつり』

8月1日(土)、2日(日)の2日間、南町紫市場を会場に特設ステージでのライブ、お楽しみ抽選会などが行われた。2日(日)は、会場付近の市道を歩行者天国として、街頭パレードの停止演技を受け入れたほか、子供みこしや縁日などを開催した。

(4) 出店

8月1日(土)、2日(日)ともに、前回と同じくみなとまつり委員会としては出店場所の確保と調整は行わず、事業者による自主出店の形式をとることとなった。港町付近での出店が前回よりも若干増えていた。

5. みなとまつり期間中の天候

◇ 8月1日(土)

まつり開催前の1週間ほどは連日気温30℃を超える日がつづき、1日は最高気温が34.2℃とまつり当日に気温のピークを迎える状態となった。天気予報ではにわか雨や急な落雷・突風も心配されていたが、天気が崩れることはなく、晴天のままで初日の行事を終了することができた。(午後6時の気温 30.8℃)

◇ 8月2日(日)

日中の最高気温は28.9℃と前日から比べれば暑さはやわらぎ、まつり会場が海の近くであったことから海風が時折吹き抜け爽やかさも感じられた。昼の部の街頭パレードは日差しの厳しい時間帯であったことから多くの観客が建物の日陰からのまつり見物を余儀なくされていた。(正午の気温 28.2℃)

打ちばやし大競演のための交通規制と会場準備が始まった午後4時ごろから雷雨の情報が入り、午後5時近くまでの間雷雨に見舞われ、この間まつりの準備はストップしたままであった。幸い港町臨港道路の会場は雷雨および雷雲の中心が北側にそれていたことから約10分遅れの午後5時10分に打ちばやし大競演が開始された。

その後、気仙沼地域には竜巻注意情報が発表され、防災当局への申請内容に従い、風速10m以上の強風が発生した場合には海上打ち上げ花火を中止することも検討されていたが、風が強まる状態には至らず、予定していた海上打ち上げ花火を終了することができた。(午後8時の気温 23.3℃)

6. 人 出

まつり当日の人出は、初日の8月1日(土)が31,000人、二日目の8月2日(日)が41,000人だった。

初日の8月1日(土)は、前回(平成26年8月2日(土))の33,000人から2,000人の減少、二日目の8月2日(日)は前回(平成26年8月3日(日))の35,000人から6,000人増加の人出となった。1日(土)については、「街頭パレード」が日曜日に移動し、行事開催時間が短くなったことで減少となったものと思われる。2日(日)については、街頭パレードを昼の部として三日町・八日町・

南町で開催したこと、夕の部の打ちばやし大競演が前回より広い場所で開催できたことにより観客の受入れ能力が高まったことで、人出の増加につながったものと思われる。

7. シャトルバスほか交通機関の臨時便について

シャトルバスは、気仙沼市内バス会社3社に依頼し、8月1日(土)は6つのコースを、2日(日)は7つのコースを運行した。

8月1日(土)

①気仙沼向洋高校 ⇔ 市立病院入口	(利用者 延べ101人)
②松岩小学校 ⇔ 南郷	(延べ184人)
③鹿折小学校 ⇔ 上田中一丁目	(延べ 60人)
④気仙沼西高校 ⇔ 反松公園住宅前	(延べ 64人)
⑤唐桑ルート(中井小学校他 ⇔ 南郷)	(延べ 6人)
⑥一関ルート(千厩駅前他 ⇔ 市立病院入口)	(延べ 4人)

8月2日(日)

①気仙沼向洋高校 ⇔ 化粧坂(昼)、市役所前(夜)	(延べ101人)
②松岩小学校 ⇔ 化粧坂(昼)、中央公民館前(夜)	(延べ240人)
③鹿折小学校 ⇔ 魚町一丁目	(延べ 60人)
④気仙沼西高校 ⇔ 化粧坂(昼)、中央公民館前(夜)	(延べ 80人)
⑤条南中学校 ⇔ 化粧坂(昼)、中央公民館前(夜)	(延べ104人)
⑥唐桑ルート(中井小学校他 ⇔ 魚町一丁目)	(延べ 15人)
⑦一関ルート(千厩駅前他 ⇔ 魚町一丁目)	(延べ 11人)

気仙沼線 BRT については、JR 東日本で8月1日と2日の両日、午後8時30分気仙沼駅発本吉駅行きの臨時便を2台設定していただいた。

8月1日(土)	午後8時30分発	35人、	午後9時30分発	25人
8月2日(日)	午後8時30分発	25人、	午後9時30分発	35人
			合計	120人

大島汽船については、8月2日に大島行き臨時便を2便設定していただいた。

午後9時00分発	「フェリー亀山」			
乗船者	大人148人	小学生	38人	合計186人
午後9時30分発	「フェリードリーム大島」			
乗船者	大人 65人	小学生	4人	合計 69人
2便合計	大人213人	小学生	42人	合計255人

8. 出 動 (2日間の延べ人数※・カッコ内は第63回での延べ人数)

気仙沼警察署	216人	(170人)
気仙沼市交通指導隊	66人	(64人)
気仙沼市防犯実働隊	107人	(118人)
気仙沼海上保安署	14人	(14人)
気仙沼消防署(消防本部含む)	45人	(73人)
気仙沼消防団	22人	(60人)
気仙沼市役所	290人	(241人)
気仙沼市青少年育成支援センター	18人	(17人)
(公社)気仙沼市シルバー人材センター	16人	(-人)
自主警備臨時職員	22人	(42人)
自主警備・警備艇	10人	(12人)
警備会社	48人	(40人)
気仙沼商工会議所	53人	(51人)
気仙沼地域開発	15人	(10人)
気仙沼復興協会	16人	(11人)
早稲田大学学生ボランティア	70人	(108人)
明治大学阪井ゼミ学生ボランティア	19人	(22人)
合 計	1,047人	(1,053人)

※ 2日目について昼の部と夕の部の延べ人数で回答の団体もある。

9. 警備・交通規制

8月1日(土)は午後4時から9時まで田中前大通りのモスバーガー付近交差点から朝日生命付近交差点までを車両進入禁止とし、一本北側の市道を東行き、一本南側を西行きの一方通行道路として設定して、交通混雑の緩和に努めた。

みなとまつりでの道路使用のルールに関連して、特に田中前大通りでの出店について、出店によって歩行者の通行の妨げになることがないように、出店の設置場所は来店客の滞留場所も含めて敷地内に収めること、といった指摘が警備当局側からあった。

次回からは道路使用にあたってのルールとして、歩行者の安全な通行のため、出店の屋台の位置を歩道との境目よりも後ろ側(敷地内側)に下げて配置するよう、地元商店会のご協力をいただきながら周知していかなければならない。

8月2日(日)は午前10時30分から午後2時まで新町と三日町のキングスタウン前交差点から市役所前を経て旧南町交番跡地付近交差点までの区間を車両進入禁止として、市街地での街頭パレードを実現できた。午後3時から9時まで臨港道路のうち港町ローソン付近からお魚いちば付近までと内湾の坂口交差点から復興屋台村前交差点までを車両進入禁止道路とした。お魚いちば入り口付近からカメイ気仙沼中央SSまでの区間は車両の進入がなかったことで安心して花火見物ができたものと思われる。

なお、まつり会場以外の地域では魚市場前付近から潮見町、朝日町、川口町の一帯を午後4時30分から8時30分まで車両進入規制区域にしていたが、この区間での路上駐車が目立つようになり、シャトルバスの運行にも影響を与えることとなった。

魚町の岸壁については、海中への転落など危険を防止するためバリケードを設置、同様に打ちばやし会場にもバリケードを設置し、さらに岸壁付近の海上には万が一の転落などに備えて警備艇を配置した。なお、まつり会場の警備については、引き続き巡回方式をとったことで要員と経費負担を抑えることができた。

10. 事 故

まつり期間中に会場付近で発生した事故等の件数は以下の通り。

人身事故0件、物損事故0件、けが人0件。

遺失9件、拾得物38件（即時返還9件）、迷子4人、少年補導13件、酔っ払い保護0件、傷病人3人（熱中症のため、うち救急搬送1件は病院で診察後帰宅）。

初日の最高気温が34・2℃で熱中症や暑さによる事故も心配されたが、事故については、今回は無事故で全行事を終了できた。気仙沼海上保安署、気仙沼警察署、気仙沼消防署ほか警備に携っていただいた各団体のご協力に対し感謝を申し上げたい。

11. 清 掃

まつり会場内にエコステーションを設置し、今年も学生ボランティアの呼びかけにより、来場者には分別の徹底やゴミの持ち帰りにご協力をいただいた。

会場周辺の清掃は8月2日（日）早朝に田中前大通り周辺地区を、8月3日（月）早朝に八日町・南町・内湾地区および港町地区を下記の団体にご協力いただいて実施した。

早朝清掃協力者

（公社）気仙沼市シルバー人材センター、市民憲章（協）、（株）気仙沼商会
海友婦人会、気仙沼市役所、気仙沼海友会、商工会議所、（株）小野良組、
市婦連、清港会

田中前地区については、付近にお住まいの方々や事業所の方々が定期的に清掃や草取りなどを行っており、今回もごみや雑草のないきれいな状態でまつりを実施できた。また、今年からパレードコースが戻った南町界限については、付近の復興工事を担当している建設業者の方々が沿道の草取り作業をおこなってくださった。港町臨港道路の打ちばやし大競演会場については、和太鼓団体が中心となって会場の美化に努めてくださった。

復興工事のさなかにあっても安全にまつり行事を進めることができたことを付記して、関係の皆様へ感謝を申し上げたい。